

## 令和4年度 第1回学術集会プログラム等検討委員会議事録

日 時:令和4年2月14日(土)午後20:00-21:00

場 所: オンライン.

出席委員:(担当理事)根尾昌志,(委員長)渡辺雅彦,(理事長)松山幸弘,  
波呂浩孝,中村博亮,中村雅也,種市 洋,高相晶士,永島英樹,川口善治,  
山田宏

オブザーバー: 渡辺航太, 稲見 聡, 酒井大輔, コングレ

### 報告事項

1. 前回議事録の確認
2. 理事会報告(根尾担当理事)
  - a. JSRのonline化に伴う抄録のアプリについて:2023年はmicenaviを採用する
  - b. 50周年誌の作成について:2025年に発刊予定である
  - c. 脊椎関連学会連携促進委員会の進捗について:2025年に現時点では4学会の合同開催を目指し進めている
3. 第50回学術集会会計報告(根尾担当理事)  
会計報告資料に沿って説明された
4. 第51回学術集会準備報告(中村雅也会長)
  - a. 基調講演, 特別講演, シンポジウム, 未来先導企画, 演題数1300以上, 採択率70%であり, 最新の海外演者は22名中7名が来日希望, などについて説明がなされた
  - b. 現状学会は現地開催のみの開催を予定している  
緊急事態宣言発動時にはハイブリッドを予定する
  - c. 晩餐会についてはCOVID-19感染状況も鑑み, 3月21日まで待ち方針を決定する
  - d. 全体懇親会は行わない
5. 第52回学術集会準備状況報告(種市洋会長)
  - a. 会場:札幌コンベンションセンター・産業振興センターにてハイブリッド開催(ライブ配信)を想定した予算で計画している, テーマは「格致日新」
  - b. COVID-19収束後も働き方改革を踏まえ, なるべく多くの会員が参加できるようハイブリッド開催(基本的に全てLIVE配信予定)を計画する

- c. 文化講演、海外演者(一部)が決定した.
- d. オンラインも活用できるだけ多くの海外演者を招聘する

#### 審議事項

##### 1. 第 51 回学術集会の開催形態について

第 51 回学術集会における晩餐会中止に関わる経費について松山理事長より質問があり、現状でキャンセルの判断をしなくて良いのではとの意見がなされた。根尾担当理事よりもう少しキャンセル料について交渉の余地があるのではないかと発言があった。川口委員より大学から同居人以外との飲食を禁止しているので、状況が好転しなければ中止するとの判断も止むを得ないのではないかと。波呂委員より各地での感染状況に差があるので、第 50 回同様にセレモニーを中心として状況が許せば飲食を入れていく方針が良い。中村博亮委員より 1 ヶ月前まで待つ方が良いとの意見がなされた。審議の結果、3 月 21 日に方針を決定するが、緊急事態宣言もしくはまん延防止措置下であればセレモニーのみ、解除された場合には十分な感染対策の下で会場での食事の提供もしくは食事の持ち帰りを各個人の判断により選択可能、となった。

- 2. ハイブリッド開催時において指導医講習会は Web 配信可能として頂きたい趣旨が渡辺理事、松山理事長より発言された。
- 3. 渡辺航太第 51 回事務局長より今回演題応募に際し無責任な行動が見られたとの報告に対し種市委員より学会で何かルール作りを検討していった方が良いとの意見がなされた。
- 4. 第 52 回の開催形態について状況が許せば基本的にはオンサイトで行なって欲しい趣旨が松山理事長よりなされた。働き方改革やコロナの状況を踏まえ引き続き検討していく(種市委員)。
- 5. 次回委員会の日程調整  
次回委員会の日程は第 51 回学術集会時 4/23 早朝に開催予定。